

# 「こまえがお」の おひっこし

作：  
なかはたじゅんこ

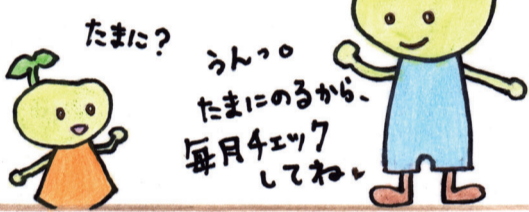
2017年から 年3回、これまで 12号  
発行してきた「こまえがお」、



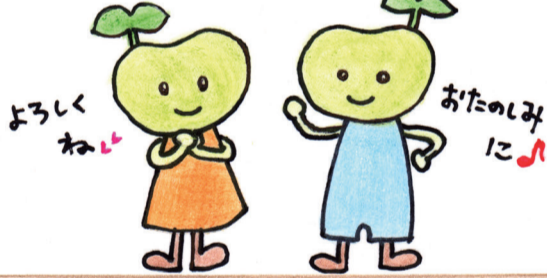
「こまえがお」は、次号から、  
「わっこ」と合併することになったよ!



「わっこ」は毎月発行していて、  
その中にたまに「こまえがお」の  
ページがあるの。



市民が作る「こまえがお」、  
これから、市民リポーターが「報」目線で、  
たくさんのお顔を紹介します!



「広報誌こまえがお」の発行は今号で終了になります。これまで関わってくださったすべての皆さま、ありがとうございました。これからは「市民活動・生活情報誌わっこ」と一緒に市民活動の魅力をお届けしていきます。今後よろしくお祈りします。

## 市民活動 Plus ONE プラスワン情報

昨今は情報を発信するためのさまざまなツールが溢れています。チラシ、パンフレット、会報の発行。広報紙・情報誌への掲載。ラジオ、テレビ、ケーブルテレビに出演。SNSに至っては、ホームページ、ブログ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブック、ライン、ユーチューブなど。たくさんあって何がなんだか。それぞれのツールが持つ得意分野を考えて発信することが大切です。

【誰に届いて欲しいのか】ターゲットの年齢層や配信の範囲などを考えましょう。

【手にとってもらうには】「この情報こそあなたに知ってもらいたい!」の思いを、簡潔にまとめてメールの件名、記事のタイトルに込めましょ

# 笑顔のひと



バルーンアート風翔(ふうと) 久嶋 綾子さん

「バルーンアートのおかげで沢山の笑顔との出会いがあり、全てが宝物です」と話すのは、「バルーンアート風翔(ふうと)」の久嶋さんです。旭江団地内で事務の仕事をしてきた久嶋さん、毎月、開かれていたサロン会で飾るお花をバルーンアートで作ってみようかと挑戦。100円ショップで材料の調達、YouTube動画等を何回も何回も見て独学で腕を磨いてきました。しばらくは個人活動をしていましたが、2019年に地域の子供達や高齢者の皆さんが喜び楽しめる仲間づくりをしていき



いと、団体を立ち上げて、月に1回、地域で楽しむバルーンアート講座を中央公民館で開いています。季節に合わせてクリスマスリースやおだり様、動物とテーマは多彩です。保育園でのイベントでは、子ども達との交流もあり、近



所で買い物をしていると、「バルーンのおばちゃん!」と声を掛けられたり、家からバルーンを運ぶ際に必ず

と言っていいほど静かに後を追ってくる子もいるとか。「子ども達が目をキラキラさせて笑顔になってくれるのが本当に嬉しい。まるでスーパースターのように見えるのでしょうか、そして、そんな子ども達とご高齢者のイベントに参加して世代間交流をしたい。また、ライバルの出現が私自身の向上心維持にもなりますので、バルーンアートで活動したい方達に教えていければと思います」と夢を語る久嶋さんの作品は、市内のあちこちに展示されています。皆さんも作品と出会って、笑顔になりませんか?

広報部会のみなさんからツイート!

### アナログ twitter

「○○なら、もっと笑顔になれる」

アナログ twitter 最終回は広報部会のみなからツイートだよ。写真から滲み出るキャラクターを笑顔と共にご賞味あれ。じゃーねー、バイバイ、またねー。(編集係 Y)

今が一番若いです! (いっちゃんおつか)

人生のスタイルを作ることをしたら笑顔になれる R.S

街中にお花が 涙山あふれたら 笑顔にほれる (中畑 順子)

Yanagi wa midori, Hana wa kurenai きとぜんぶ大丈夫になる。大好きな Manami ちゃんの言葉だよ。(編集係 Y = Takahashi Yoichi)

音楽が街に 溢れたら (くまの)

## 編集後記

取材を受けて頂いた皆さま、ありがとうございました!

今回の誌面も、素敵なえがおの花が咲いていたかと思えます。旭江生まれ旭江育ちの私たちですが、毎回、取材を通して、今まで知らなかった旭江の魅力との出会いに感動し、感謝しています。

こまえがおは、新たなステージに移ることにりましたが、今まで通り、えがおあふれる元気になる情報を発信していきたいと思えます。(市川・齋藤)